



平成29年度「中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業」

第2回 決済・商流情報連携(金融EDI連携)基盤整備委員会 進行資料

2018年7月19日

中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業事

# 本日のアジェンダ

---

## 1. 開会

1. 中小企業庁挨拶
2. 委員長挨拶

## 2. 事業進捗の報告

1. 事業の全体スケジュール
2. 部会等実施状況の報告

## 3. 審議事項

1. モデルプロジェクト採択報告

## 4. 閉会

---

1. 開会

# 1. 開会

---

1. 中小企業庁挨拶
2. 委員長挨拶

---

## 2. 事業進捗の報告

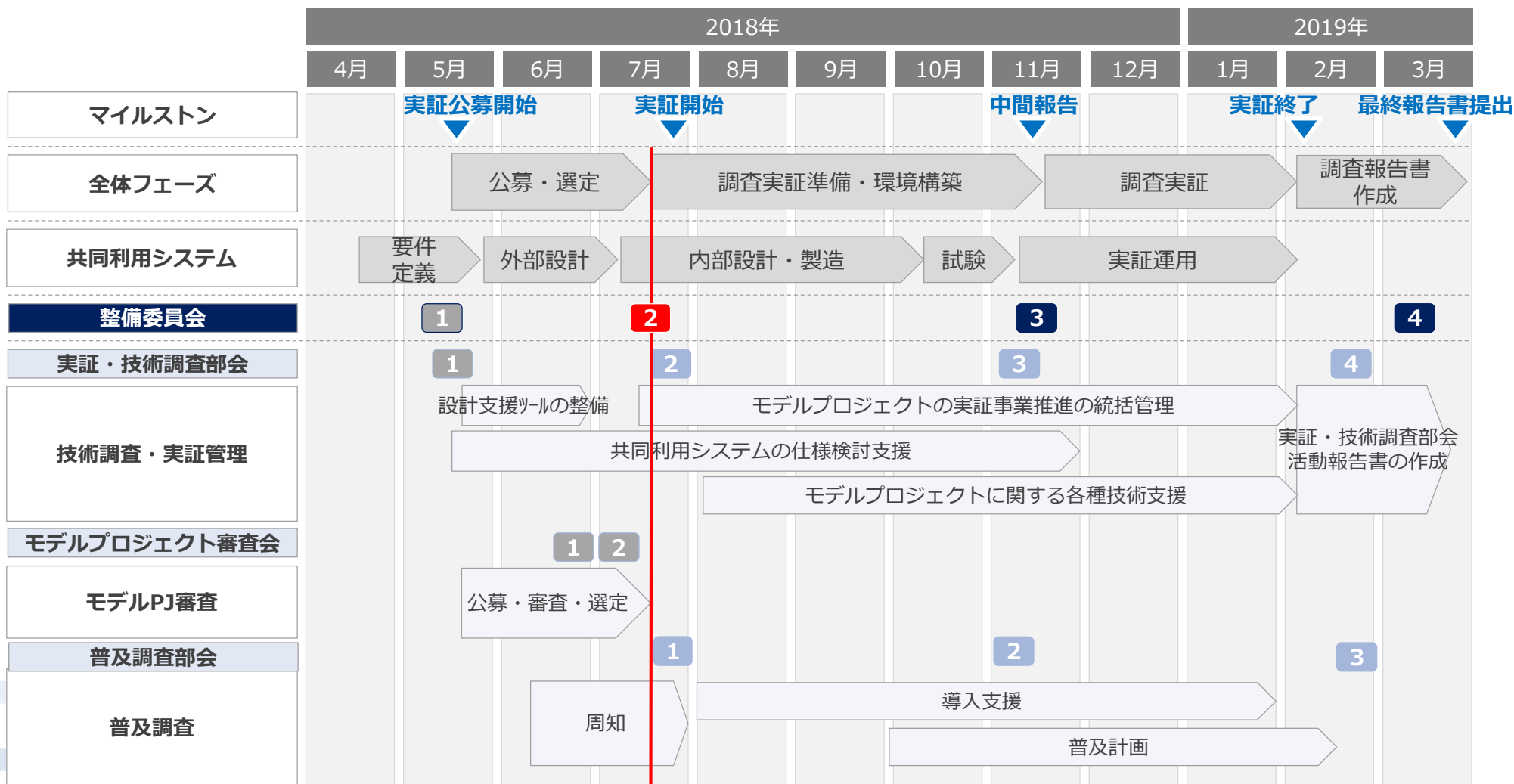
### 1. 事業の全体スケジュール

#### 2. 部会等実施状況の報告

## 2-1. 事業内容説明

### 1. 事業スケジュール

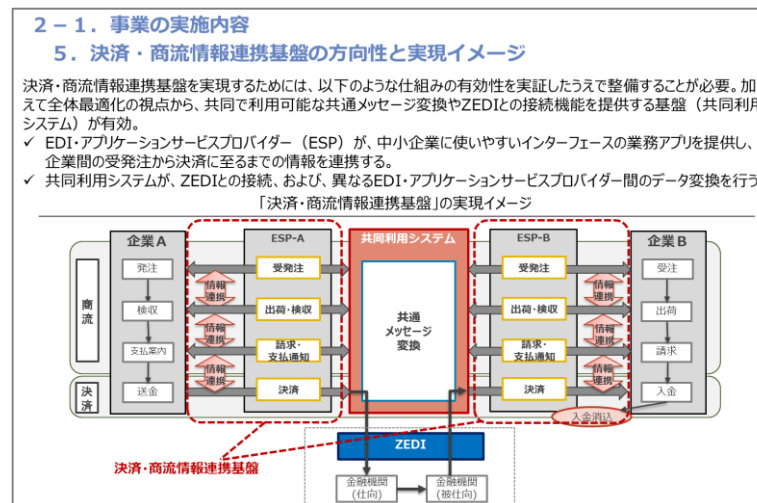
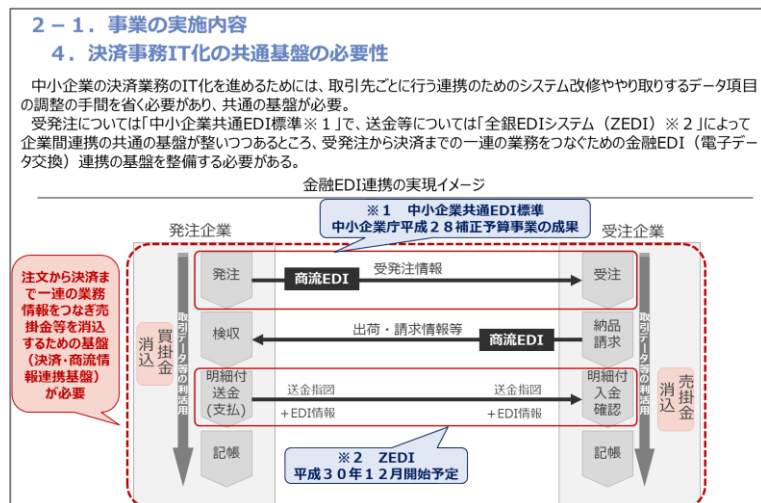
整備委員会は全4回開催を予定しており、第2回開催である本日のメインテーマはモデルプロジェクト採択報告となりますのでご審議のほど、よろしくお願いいたします。



## 2-1. 事業内容説明 (参考) 事業の実施内容

第1回資料再掲

本事業は、受発注から決済まで一連の業務情報をつなぐ決済・商流情報（金融EDI連携）基盤を整備します。そのために取り組むテーマは「アプリケーション」「共通インフラ」「普及活動」の3つとなります。



### 「決済・商流情報連携基盤」の実現に向けたテーマと目指す姿

#### テーマ① アプリケーション

中小企業にとって使いやすいインターフェースを有し相互に連携可能なアプリケーションの提供

#### テーマ② 共通インフラ

全体最適化の視点から決済・商流情報連携基盤提供者が共通で利用可能なインフラの提供

#### テーマ③ 普及活動

仕組みが定着するまでの間の周知活動と導入支援体制の確立

## 2. 事業進捗の報告

### 1. 事業の全体スケジュール

### 2. 部会等実施状況の報告

#### 1. 実証・技術調査部会

#### 2. モデルプロジェクト審査会

#### 3. 普及活動状況

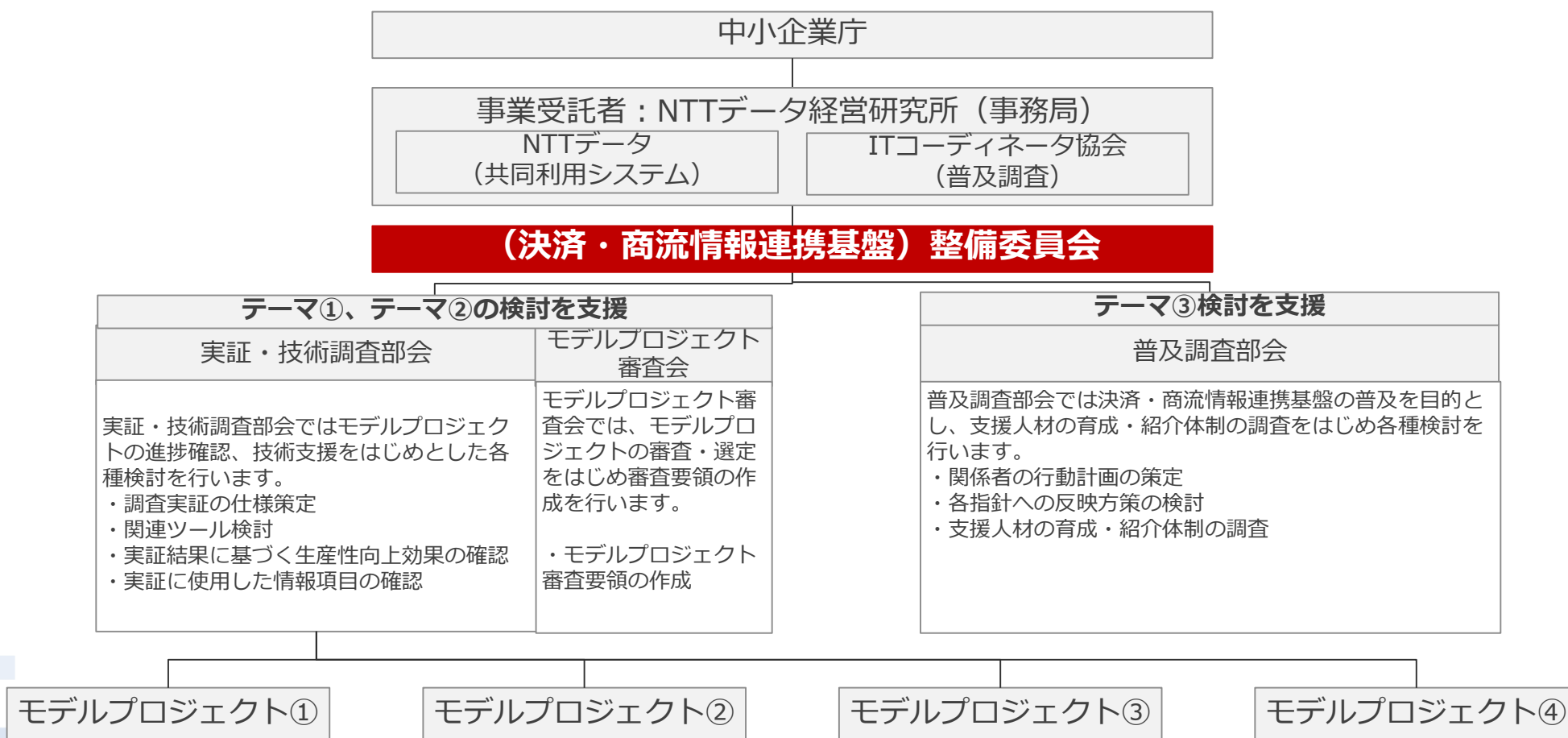


## 2-2. 部会等実施状況の報告 (参考) 事業実施体制

第1回資料再掲

本事業は、中小企業庁よりNTTデータ経営研究所が受託し、全体の事務局を務める。  
事務局が委員会を設置し、今後委員会の下に2つの部会が設置。「実証・技術調査部会」の下で公募を経て採択される4つ（または予算に応じそれ以上）のモデルプロジェクトを実施し、「普及調査部会」にて普及調査を実施する。

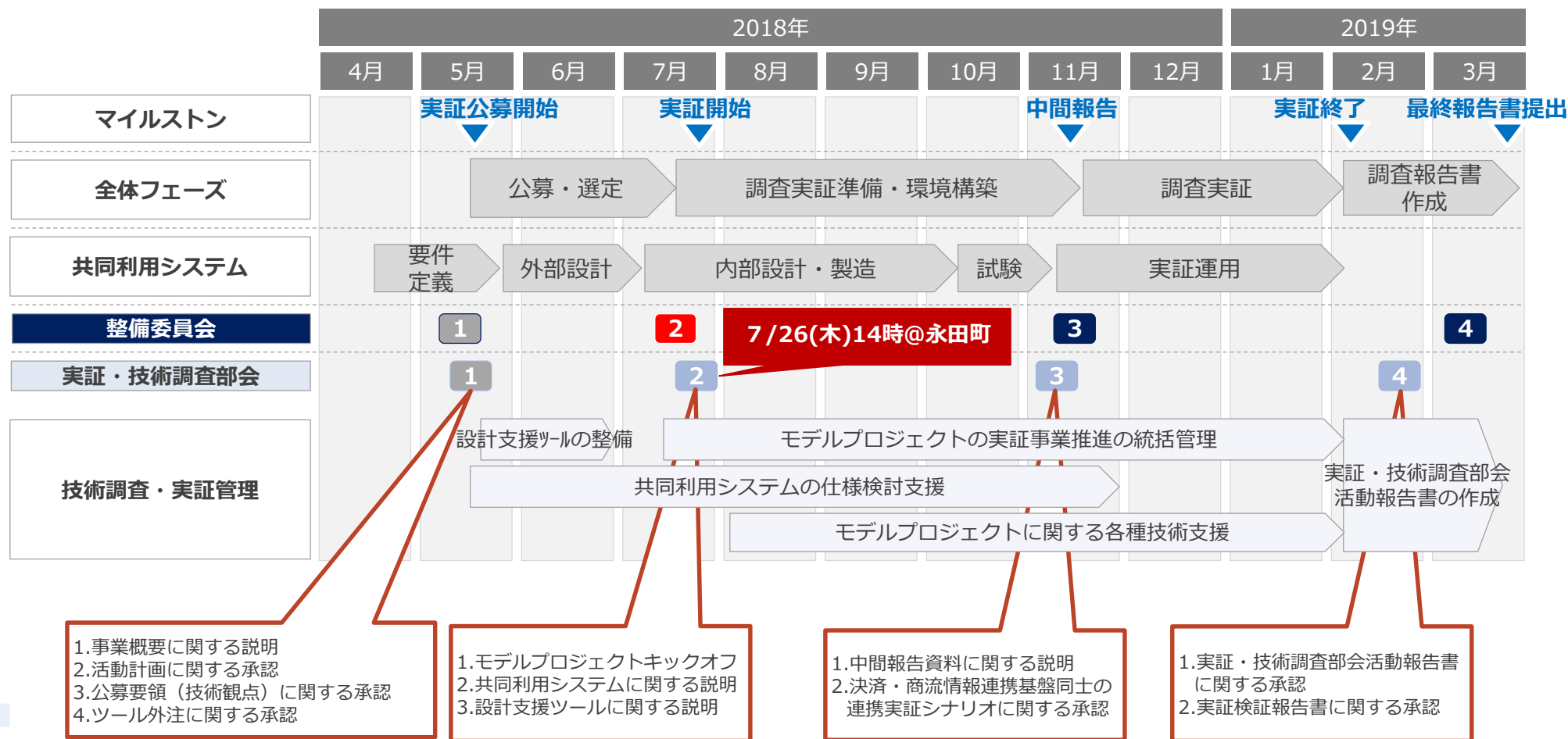
### 本事業の体制



## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 1. 実証・技術調査部会

第1回実証・技術調査部会で審議した結果を踏まえ、5月18日に公募受付を開始しました。今後の予定として、モデルプロジェクトキックオフを兼ねた第2回部会を7月26日に実施予定です。



## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 1. 実証・技術調査部会

第1回実証・技術調査部会を5月16日に開催しました。概要を以下に記載します。

議事次第	主な意見（一部抜粋）	主な実施成果・決議事項
<div>1. 開会</div> <div>2. 事業概要</div> <div>3. 審議事項</div> <div>1. 活動計画</div> <div>2. モデルプロジェクト公募要領</div> <div>3. ツール外注</div> <div>4. 閉会</div>	<div>モデルプロジェクト公募要領の金融機関が関連する発言（一部抜粋）</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>事業体制について、応札段階における金融機関の参加について、表現がわかりにくい「名前が入っていても良い」「必須ではない」「採択後に関係先と調整させて頂く」の3点を中心として表現を見直すこと。</li></ul></div>	<div><ul style="list-style-type: none"><li>互選の結果、部会長に菅又様を選出</li><li>部会活動計画に関する審議を行い、内容について承認された</li><li>公募要領に関する審議を行い、指摘事項の修正を前提とし、内容について承認された</li><li>ツール外注に関する審議を行い、内容について承認された</li></ul></div> <div>活動計画として、5つのテーマの実施について承認されました。詳細は次ページを参照</div>

#### 実証・技術調査部会の構成

部会名	部会長	部会委員（順不同）	
		氏名（敬称略）	所属
実証・技術調査部会	○	菅又 久直	ビジネスインフラ研究所 所長
		遠城 秀和	国連CEFACTバリデーション領域 コーディネータ ISO TC68 セキュリティおよび意味情報データモデル 委員
		川内 晟宏	特定非営利活動法人ITコーディネータ協会 フェロー
		神田 潤一	一般社団法人Fintech協会 理事
		小松 靖直	日本商工会議所 情報化推進部長
		松島 桂樹	一般社団法人クラウドサービス推進機構 理事長
		水谷 学	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 筆頭副会長

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 1. 実証・技術調査部会

実証・技術調査部会活動内容の中から、作業を開始している「①モデルプロジェクトの実証事業推進の統括管理」「②共同利用システムの仕様検討支援」「③設計支援ツールの整備」に関して状況のご報告をいたします。

#### テーマ

#### 概要

実証開始前から作業着手 (準備含む)	①モデルプロジェクトの実証事業推進の統括管理	調査実証の仕様策定、採択されたモデルプロジェクトの実証事業遂行に関する進捗管理および課題管理を中心とした統括管理を行う
	②共同利用システムの仕様検討支援	共同利用システムの各種機能（共通メッセージ変換、FBクラウド、ZEDIシミュレータ）に関して、仕様検討支援を行う。
	③設計支援ツールの整備	実証検証の実施、ならびに今後の普及展開活動を見据え、中小企業庁の委託事業である平成28年度経営力向上・IT基盤整備支援事業（次世代企業間データ連携調査事業）で開発した「業界横断EDIレジストリ管理システム」に関して、本事業で必要な更新を行う。
実証開始後に作業着手	④モデルプロジェクトに関する各種技術支援	モデルプロジェクトと密な連携を取ることで、各種技術的な支援を行う
	⑤実証・技術調査部会活動報告書の作成	上記①～④の活動成果として、実証・技術調査部会活動報告書を整備委員会に提出する

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 1. 実証・技術調査部会 ①モデルプロジェクトの実証事業推進の統括管理

モデルプロジェクトの統括管理は、進捗および課題管理を中心とし、毎月の定期報告を基本とします。

目的	モデルプロジェクトの進捗状況および課題を早期に把握すること
ルール	✓ 前月実績分を月初から5営業日以内に事務局へ報告 ✓ 事務局が個別確認の必要性を認識した場合（進捗遅れやクリティカルな課題発生時など）は、対面もしくはテレビ会議等により報告を求める場合がある
対象	全モデルプロジェクト

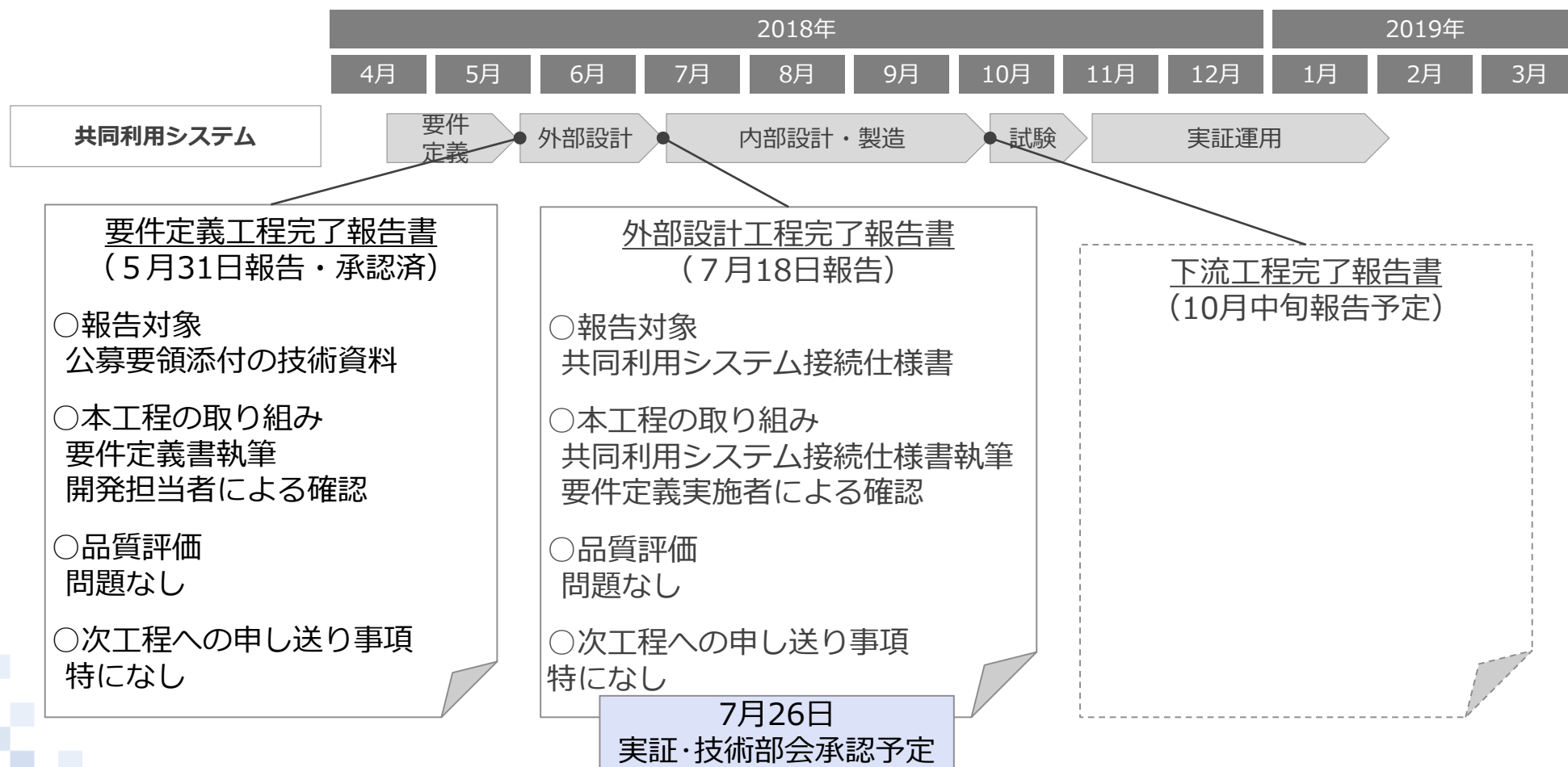
	報告サマリ	進捗管理	課題管理
報告ツール	○月次報告サマリ ✓ 主な実施項目（計画、実績） ✓ 進捗総括 ✓ 課題総括 ✓ 来月の予定	○進捗サマリ ※WBSタスクL2レベルを矢羽で記載（計画、実績） ○WBS ✓ マイルストーン ✓ タスク（L1：工程、L2：カテゴリ、L3：タスク・成果物） ✓ 先行後続、クリティカルパス ✓ 担当者 ✓ 開始日（計画、実績） ✓ 終了日（計画、実績） ✓ 状況（未着手、作業中、完了、遅延）	○課題管理表 ✓ 発生日 ✓ 起票者 ✓ 重要度 ✓ 関連タスク ✓ カテゴリ ✓ タイトル ✓ 内容 ✓ 解決期限 ✓ 状況 ✓ 解決日 ✓ 状況説明

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 1. 実証・技術調査部会 ②共同利用システムの仕様検討支援

構築担当ベンダーである株式会社エヌ・ティ・ティ・データからの報告をもとに、事務局から実証・技術調査部会へ工程完了報告を行い、承認いただきます。

共同利用システムに関しても月次で課題及び進捗に関する報告を受けております。現在の進捗状況はオンスケで外部設計工程の作業が完了し、内部設計・製造工程作業に着手しております。



## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 1. 実証・技術調査部会 ③設計支援ツールの整備

第1回部会にて設計支援ツール改修外注に関して承認を頂き、改修作業は6/29に予定通り完了しました。モデルプロジェクトキックオフにて本ツールについてモデルプロジェクトに説明を行う予定です。

#### 設計支援ツール整備概要

目的	決済・商流情報連携基盤を提供する事業者が国連CEFACTに準拠したメッセージを効率的に設計できるように支援すること
整備方法	コスト・スケジュールの観点から、本事業で新規にツールを作成するのではなく、『平成28年度経営力向上・IT基盤整備支援事業（次世代企業間データ連携調査事業）』にて整備したツールに必要な改修を行う
改修内容	<p>具体的な改修内容は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>（1）国連CEFACT共通辞書の改修項目選定<ul style="list-style-type: none"><li>① CCL 16B版からCCL 17A版への改修</li><li>② CCL 17A版からCCL 17B版への改修</li><li>③ CCL 17B版からCCL 18A版への改修</li></ul></li><li>（2）改修対象の辞書引名及び定義の日本語化 必要に応じて、業界用語および日本版解説を加える。</li><li>（3）業界横断EDILレジストリへの登録 改修版辞書をレジストリに登録し、メッセージ設計ツールで利用可能にする。</li></ul>

## 2. 事業進捗の報告

### 1. 事業の全体スケジュール

### 2. 部会等実施状況の報告

#### 1. 実証・技術調査部会

#### 2. モデルプロジェクト審査会

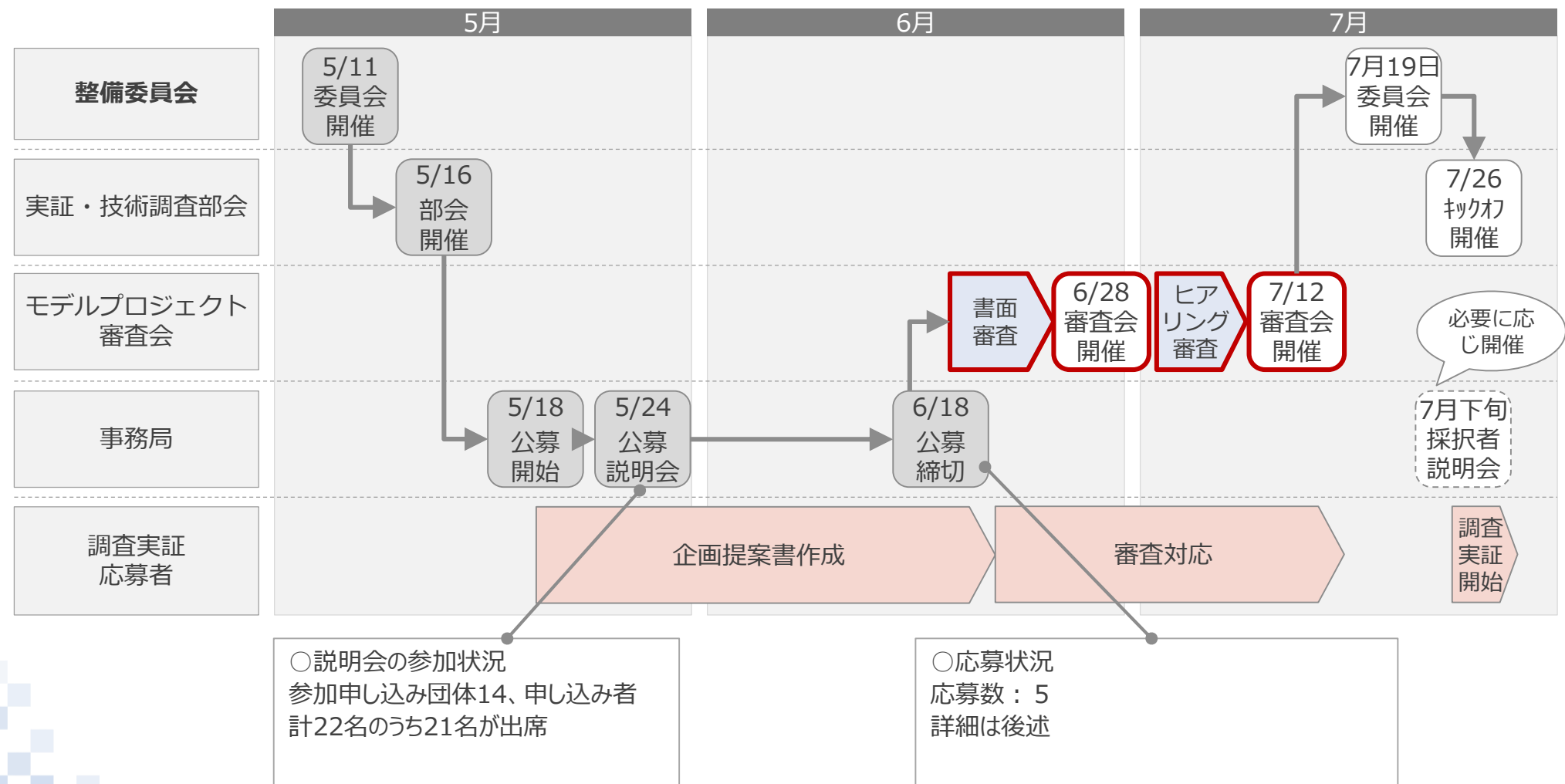
#### 3. 普及活動状況



## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 2. モデルプロジェクト審査会 公募状況

5月11日整備委員会後、5月18日に公募を開始しました。また、5月24日に公募説明会を実施し、6月18日の公募締切後に書面審査、ヒアリング審査、2回の審査会を実施しました。



## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 2. モデルプロジェクト審査会 会議体・審査員

ヒアリング審査を含め、計4日間の会議体を実施しました。  
また、モデルプロジェクト審査会は、有識者4名で構成しました。

会議体	議事次第	主な実施成果・決議事項
2018年6月28日 <b>第1回モデルプロジェクト審査会</b>	1. 開会 2. 事業概要 3. 審議事項 4. 閉会	<ul style="list-style-type: none"> <li>互選の結果、部会長に松島委員を審査員長に選出</li> <li>書面審査結果の審議</li> <li>ヒアリング対象プロジェクトの選定</li> </ul>
2018年7月5日 2018年7月6日 <b>ヒアリング審査</b>	1. 事前準備 2. ヒアリング審査 3. モデルプロジェクト再評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>5モデルプロジェクトのヒアリング結果</li> <li>モデルプロジェクト再評価結果</li> </ul>
2018年7月12日 <b>第2回モデルプロジェクト審査会</b>	1. 開会 2. モデルプロジェクト採択審議 3. 閉会	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデルプロジェクト採択審議</li> <li>モデルプロジェクト選定結果</li> </ul>

#### 審査会の構成

部会名	審査員長	審査員（順不同）	
		氏名（敬称略）	所属
モデルプロジェクト 審査会	○	松島 桂樹	一般社団法人クラウドサービス推進機構 理事長
		岡田 浩一	明治大学大学院経営学研究科長
		神田 潤一	一般社団法人Fintech協会 理事
		菅又 久直	ビジネスインフラ研究所 所長

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 2. モデルプロジェクト審査会 書面審査の考え方

書面審査（加点審査）における加点の考え方、評価方法は、以下の考え方を採用しました。  
これらの考え方に基づき設定した評価項目を元に、審査員による厳正な審査を行いました。

#### 加点の考え方

- ① プロジェクトの実効性
- ② 使いやすいアプリケーション創出のための工夫や配慮
- ③ 提案の具体的な実施イメージと計画

#### 評価方法

提案がない、または  
提案はあるが著しく  
適切性に欠ける

適切性のある提  
案がされている

優れた提案がある

低

中

高

提案書を評価するための3つの加点の考え方を設定  
3つの考え方のうち、特に「②使いやすいアプリケーション創出のための工夫や配慮」を重視

加点の考え方に基づいて設定した評価項目に対し  
て審査員による3段階評価を実施

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 2. モデルプロジェクト審査会 採択枠の考え方

審査員による審査結果を踏まえ、2 枠を中小企業共通EDI対応プロバイダ、1 枠を個別EDIプロバイダとし、それぞれの枠の得点上位者（次点）のプロバイダを1 枠採択する方針としました。

#### 2 枠

中小企業共通EDI標準 対応プロバイダ

枠内の得点上位者

中小企業共通  
EDI標準対応  
プロバイダ

中小企業共通  
EDI標準対応  
プロバイダ

#### 1 枠

個別EDIプロバイダ（中小企業共通EDI対応以外）

枠内の得点上位者

個別EDI  
プロバイダ

両枠内の得点上位者（次点）

#### 1 枠以上

中小企業共通  
EDI標準対応or  
個別EDI対応  
プロバイダ

- ※ 1 同一法人が複数枠へ応募することは可能ですが、同一法人を複数採択することはありません。
- ※ 2 採択決定したプロバイダの採択金額合計が予算よりも低い場合、4 者以上採択する可能性があります。

中小企業共通EDI標準対応プロバイダとは、中小企業共通EDI標準に準拠した仕様（標準仕様書及びメッセージガイドラインへの準拠を求めており、実装ガイドラインへの対応は求めません。）で実証を実施するコンソーシアムを指します。

## 2. 事業進捗の報告

### 1. 事業の全体スケジュール

### 2. 部会等実施状況の報告

#### 1. 実証・技術調査部会

#### 2. モデルプロジェクト審査会

### 3. 普及活動状況

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 「テーマ③普及活動」の実施事項と本日の報告内容

本事業の「テーマ③普及活動」について、主に議論を行う場である「普及調査部会」の立ち上げに先立ち、「周知のための説明会実施とユーザアンケート実施」をいたしましたので、状況の報告をいたします。

#### 第1回委員会にて承認いただいた「テーマ③普及活動」の実施事項

普及テーマ活動③

10

11

12

4. 周知活動・導入支援体制の調査

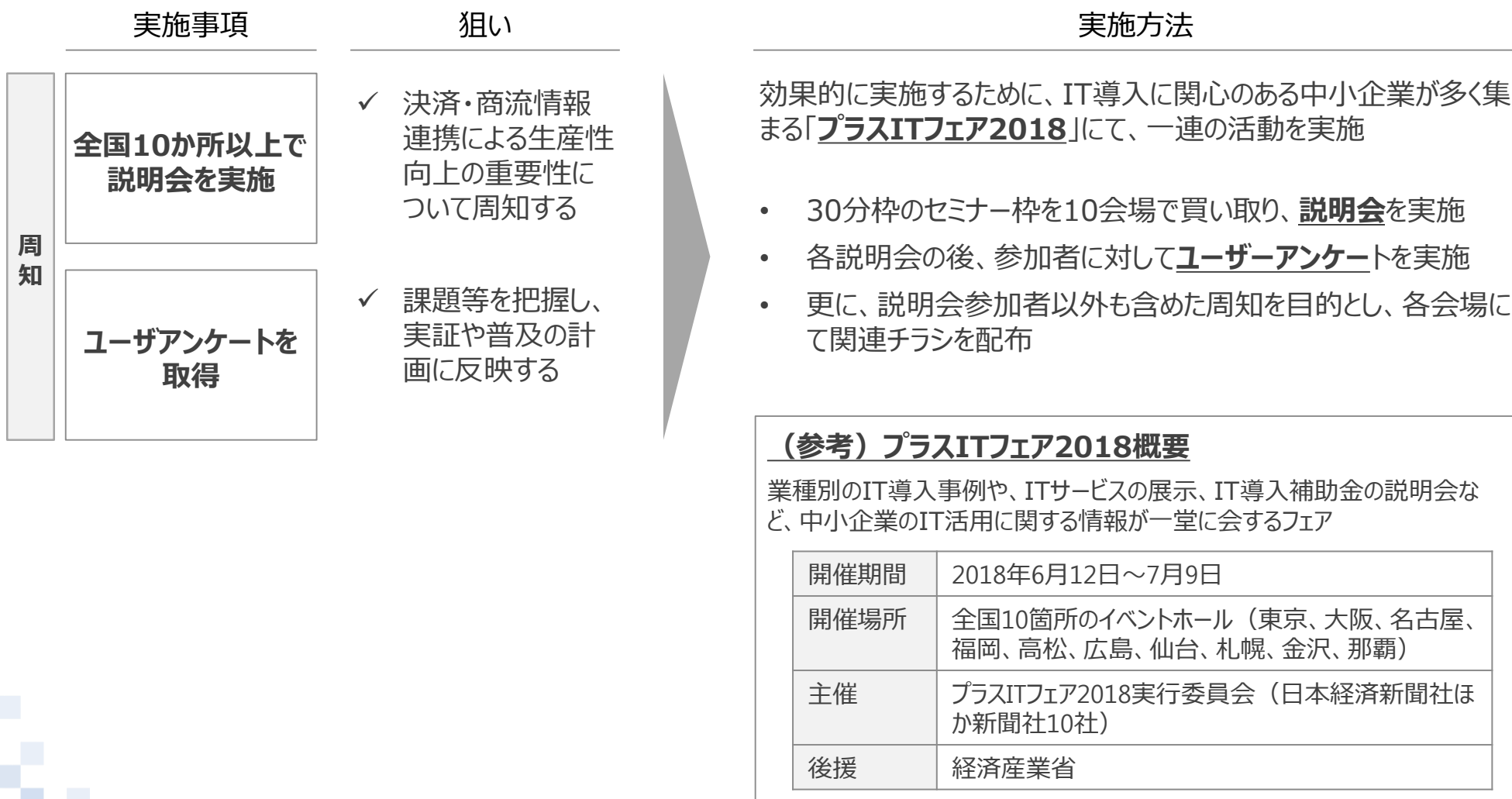
中小企業者への周知と導入支援するための仕組みのあり方の明確化

	実施事項	実施概要	作成物
周知	10 周知のための説明会実施とユーザアンケート実施	決済・商流情報連携による生産性向上の重要性について金融機関、中小企業等へ周知するとともに、金融機関、中小企業等の動向を把握して委員会での検討に反映するため、各経済産業局所在地など全国10か所以上で説明会を実施する。さらに、課題等を把握するためにユーザアンケートをとり、実証や普及の計画に反映する。	・アンケート結果（課題・ユーザーニーズ） ・説明会動画 <div>本日の報告内容</div>
導入支援	11 導入支援者育成調査	中小企業が活用する際の支援人材の育成のための仕組み（カリキュラム）を具体化し、エンドユーザー企業向けのユーザーガイド、支援人材向けの導入支援ガイド等、読み手の役割や知識レベルに配慮して作成する。また、調査結果を踏まえ、中小企業が活用する際の支援人材派遣スキーム等の案を作成する。	・エンドユーザー企業向けガイド ・支援人材向けガイド ・導入支援スキーム案
普及の為のアクションとりまとめ			
普及計画/指針への反映	12 行動計画策定／指針への反映方策	普及関連団体などの関係者を含めたアクションプランを検討し、普及のための行動計画として作成し、整備委員会で承認を得る。 また本事業の成果を踏まえ、各種指針へ追加する際の案を作成する。	・普及計画（案） ・各指針への反映方針（案）

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 「周知のための説明会実施とユーザアンケート実施」の狙いと実施方法

説明会とユーザアンケートを効果的に行なうために、ITに関心の高い中小企業が多く集まる「プラスITフェア2018」の会場を活用し実施しました。



## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 説明会の内容

説明会では、決済・商流情報連携基盤の一部である商流EDI（この説明会では中小企業共通EDI）について事例を交えた説明と、決済・商流情報連携基盤の実現に向けてZEDIの紹介、本事業の取り組みの紹介を実施しました。

#### 説明会（30分）の内容

##### 説明会 タイトル

### 企業間取引の生産性向上セミナー 「受発注が！決済も！人手不足を救うプラス『つなぐIT』」

⇒ 資料4  
説明会資料（東京会場版）

##### 説明会 構成 （東京）

#### 1. 受発注業務の生産性を向上する「つなぐIT」

- ✓ 中小企業共通EDI [平成28年度 中小企業庁委託事業成果] のご紹介
- ✓ 事例のご紹介
  - ① 株式会社 アクロスソリューションズ
  - ② 株式会社 NTTデータ
- ✓ 活用可能な支援施策のご紹介
- ✓ 「つなぐITコンソーシアム」のご紹介

事例紹介者は  
会場により異なる

#### 2. 決済業務の生産性を向上する「つなぐIT」

- ✓ ZEDI（全銀EDIシステム）のご紹介
- ✓ 決済・商流情報連携基盤 [平成29年度 中小企業庁委託事業] のご紹介

決済・商流情報連携基盤の実現のために、商流EDIの普及は不可欠であることから、「つなぐITコンソーシアム（次頁詳細）」と連携し、事例を交えて中小企業共通EDIについて説明

決済・商流情報連携基盤の周知のため、ZEDIの機能・メリット・稼動予定次期・問い合わせ窓口等の紹介と、本事業の取り組みを説明



## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 (参考) つなぐITコンソーシアム

商流EDIの効果的な説明、また集客面での支援のために、中小企業共通EDIの普及推進を実施している「つなぐITコンソーシアム」と密に連携し、説明会を実施いたしました。



#### つなぐITコンソーシアム

平成28年度「経営力向上・IT基盤整備支援事業」での実証検証に参加したITベンダーを中心に、「中小企業共通EDI」の普及推進活動を行っている団体。

#### つなぐITコンソーシアム メンバー (設立発起人) <五十音順>

- ・ アール株式会社
- ・ 株式会社アブストウェブ
- ・ 株式会社インフォーマート
- ・ 株式会社NTTデータ
- ・ 小島プレス工業株式会社
- ・ 株式会社スマイルワークス
- ・ トピックス株式会社
- ・ 碧南商工会議所
- ・ 特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 (事務局担当)
- ・ 株式会社アクロスソリューションズ
- ・ 株式会社イークラフトマン
- ・ 株式会社エクス
- ・ 株式会社グローバルワイズ
- ・ 株式会社サンアドバンス
- ・ 株式会社DTS
- ・ ピー・シー・エー株式会社
- ・ 一般社団法人クラウドサービス推進機構

✓ プラスITフェア各会場にブース出展している企業が、**説明会にて「中小企業共通EDI」の事例紹介を実施**し、また説明会の集客、チラシの配布などで協力

会場	アクロス ソリューションズ	エクス	NTTデータ	スマイル ワークス
東京	○		○	
大阪	○		○	○
名古屋	○		○	○
福岡			○	○
高松		○		
広島		○		
仙台		○		
札幌	○			○
金沢	○	○		○
那覇	○			

本  
事  
業  
協  
力

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 説明会の開催結果

7/9の那覇会場を以って全10会場の説明会を終え、チラシは1,500部の配布、説明会参加者は140名、うち100部のアンケートを回収しました。

#### 説明会に関連する実施事項

##### チラシの配布

4部で1セットで配布

- 中小企業共通EDIに関するチラシ×2部
- ZEDIの関するチラシ×2部

##### 説明会の開催

##### アンケートの回収

#### 実施結果（10会場合計）

**1,500部配布**（準備分を全て配布）

**140名参加**



東京会場の説明会動画を、  
「つなぐITコンソーシアム」Webサイトにて一般公開  
<https://tsunagu-it.com/cons/info/fair2018/>  
事務局（NTTデータ経営研究所）のWebサイトへの動画公開よりも、一般への周知効果が高いと判断し、公開場所を決定

**100部回収**（次頁以降で内容詳細）

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 アンケート概要

アンケート回答者の中で、ユーザー中小企業と想定される回答は36件ありました。  
この36件におけるアンケート結果について、本日は単純集結果を報告させていただきます。

#### アンケート内容の構成

回答者の  
属性確認

問1-4：受発注業務に関する課題、商流EDIに対する意識調査

問6-8：入金・支払い業務に関する課題、ZEDIに対する意識調査

問9-10：導入支援の意識調査、その他感想など

※問5は各会場でプレゼンを行った中小企業共通EDIベンダーに関するアンケートになっており、集計・報告の対象外としております

⇒ 資料5 アンケートフォーマット（東京会場版）

本日は速報のため、**単純集計結果の報告**とさせていただきます  
**分析を踏まえた検討は普及調査部会**で行う予定です

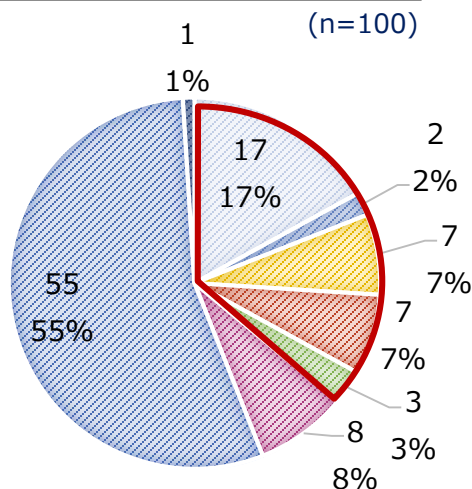
## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 アンケート回答者の属性

#### 回答者の属性

(基本属性1)  
回答者の立場

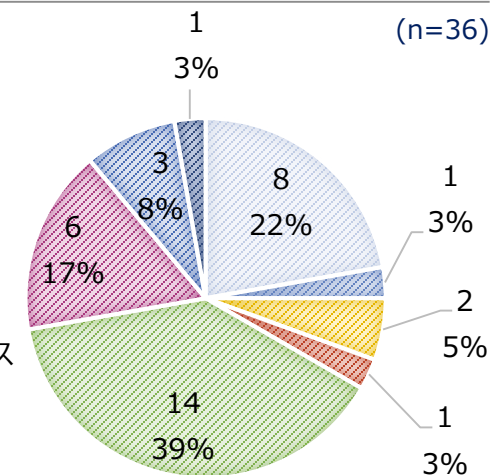
- 中小企業の経営者、管理職
- 中小企業の経理・財務担当者
- 中小企業の購買・販売・営業担当者
- 中小企業の情報システム担当者
- 上記以外の中小企業勤務者
- 中小企業と取引を行う企業の担当者
- 金融機関関係者・中小企業の支援者
- 無回答



中小企業所属者の  
回答のみを抽出

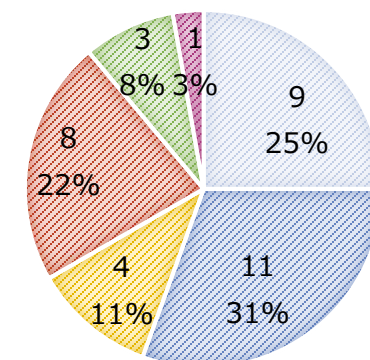
(基本属性2)  
回答者の所属する業種

- 製造業
- 建設業
- 卸売業
- 宿泊・飲食
- ITベンダー
- その他サービス
- その他
- 無回答



(基本属性3)  
回答者の所属する企業の規模

- 10名以下
- 11～30名
- 31～100名
- 101～300名
- 301～1000名
- 1001名以上

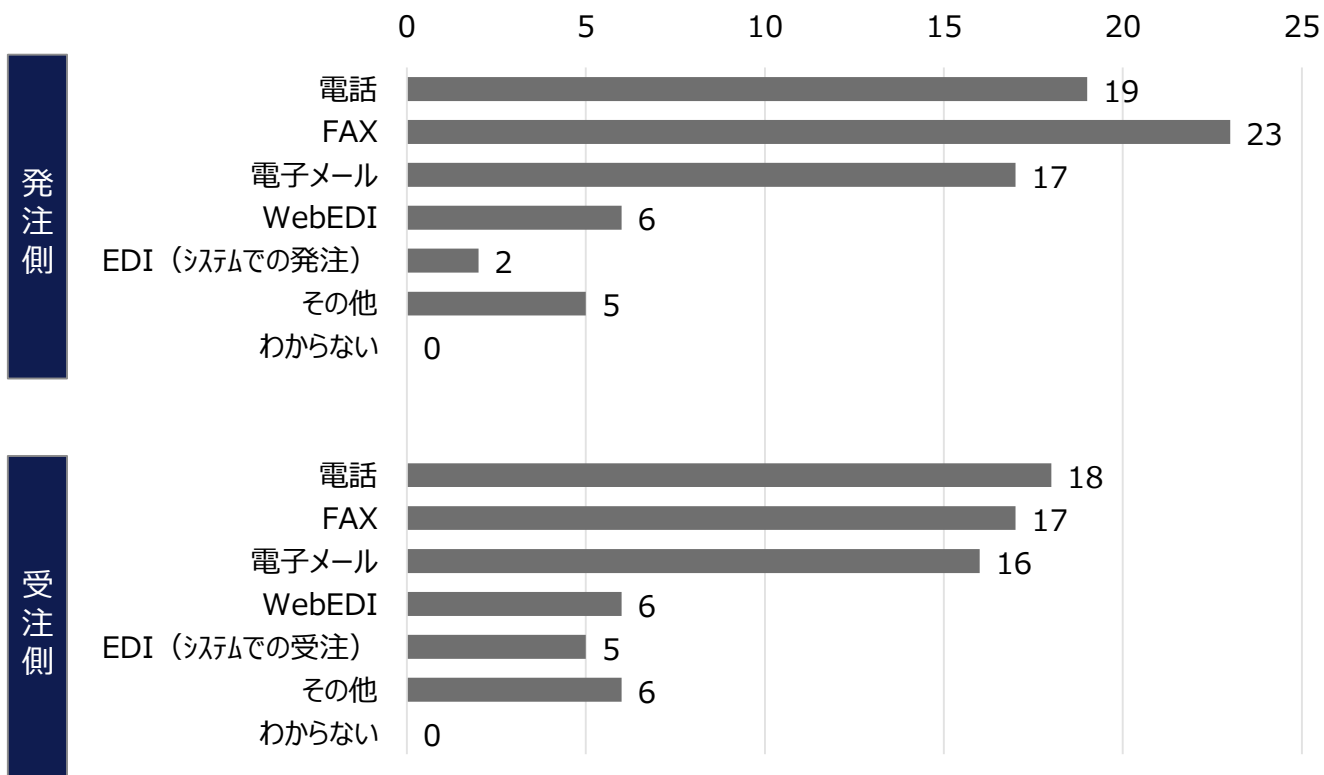


## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 受発注業務に関する課題、商流EDIに対する意識調査結果

#### 受発注・商流EDI関連設問

問1 あなたの会社では、次のどの方法で発注・受注を行っていますか？（複数選択可）

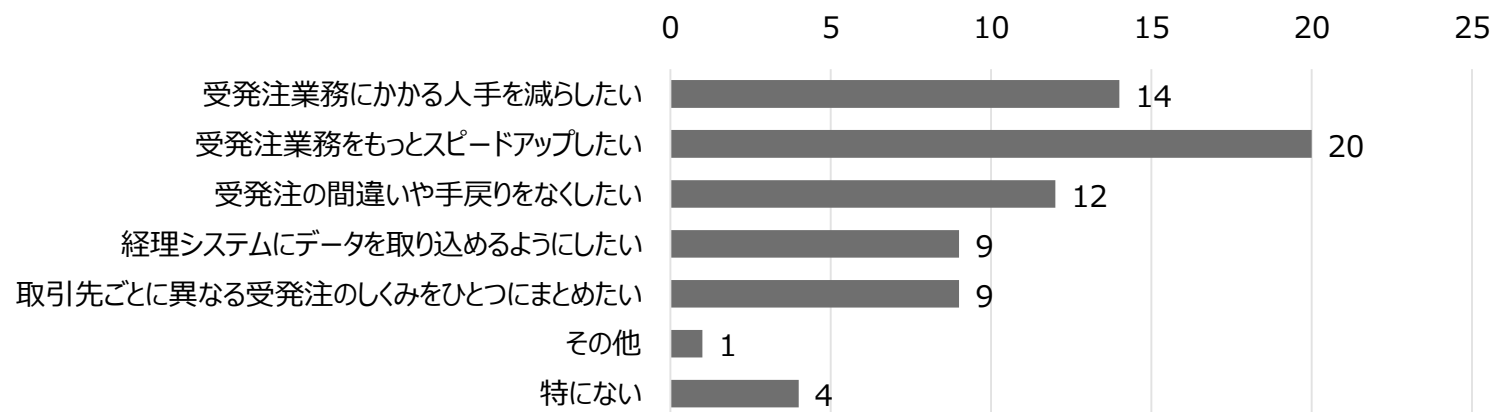


## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 受発注業務に関する課題、商流EDIに対する意識調査結果

#### 受発注・商流EDI関連設問

問2 あなたの会社の受発注業務で課題になっていること、改善したいとお考えのことはありますか？（複数選択可）

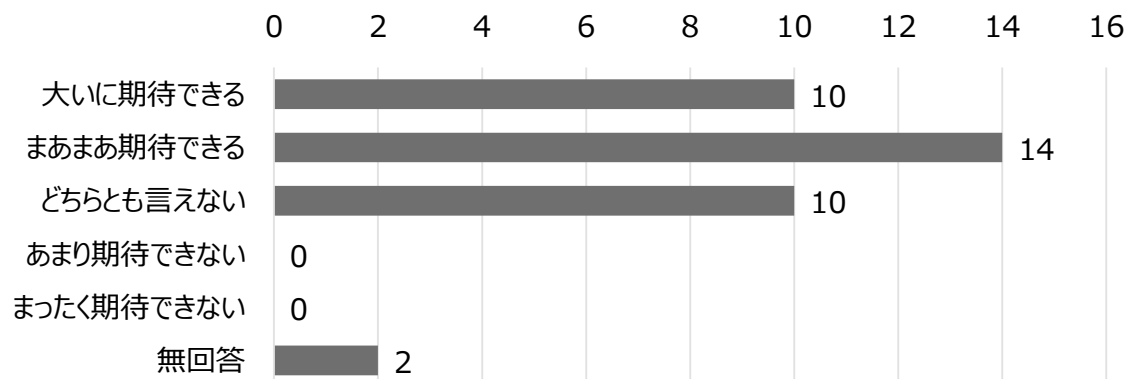


## 2-2. 部会等実施状況の報告

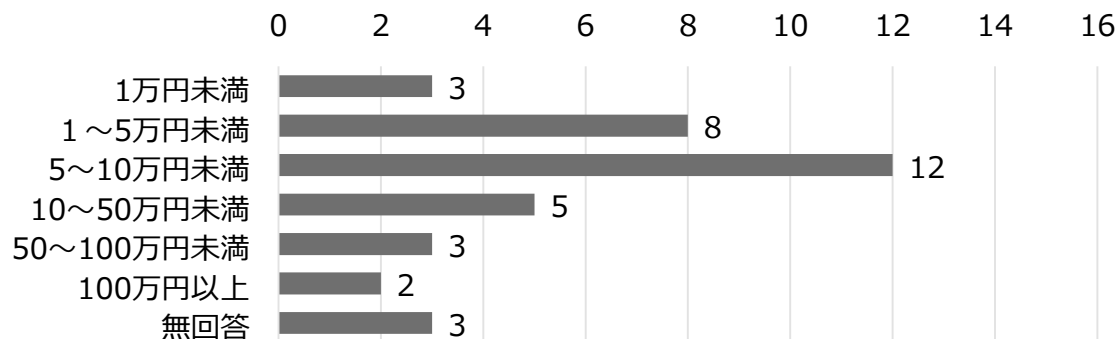
### 3. 普及活動状況 受発注業務に関する課題、商流EDIに対する意識調査結果

#### 受発注・商流EDI関連設問

問3 セミナーでご紹介した中小企業共通EDIは、前問でお答えいただいた課題の解決に役立つと思いますか？



問3SQ 仮に、あなたの会社で中小企業共通EDIを適切に導入して受発注に利用した場合、受発注業務の効率化などの効果を金額にすると、月々どれくらいになると思われますか。（およそのイメージで結構です）

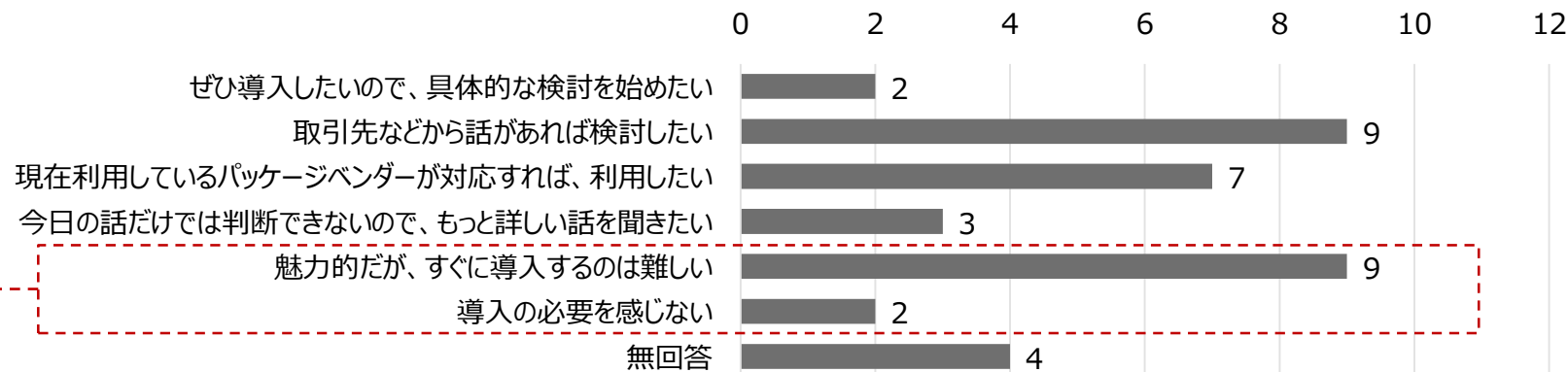


## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 受発注業務に関する課題、商流EDIに対する意識調査結果

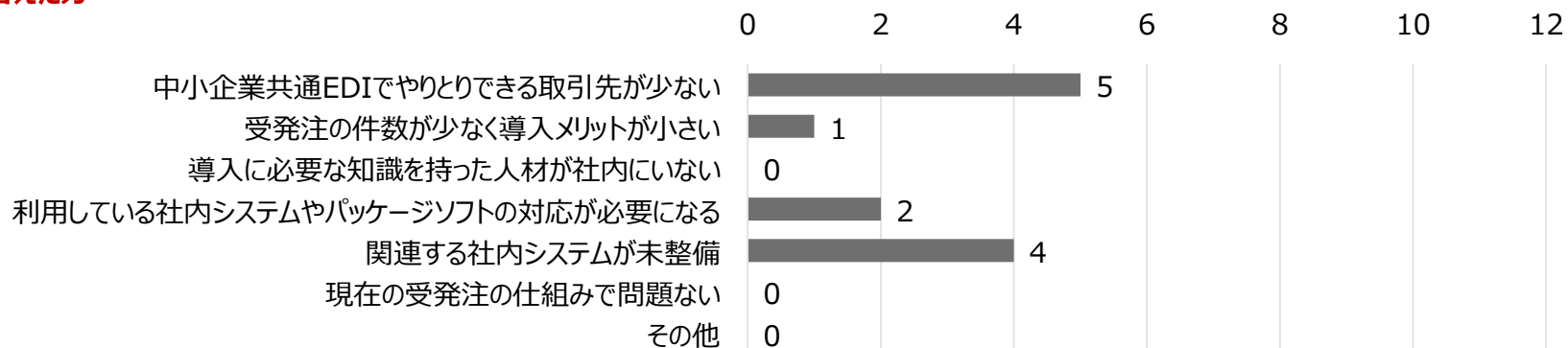
#### 受発注・商流EDI関連設問

問4 本日の講演をお聞きになって、中小企業共通EDIの導入についてどう思われましたか？



問4SQ 中小企業共通EDIの導入・利用が難しいと思われるのはなぜですか？（複数選択可）

導入・利用が難しいと答えた方



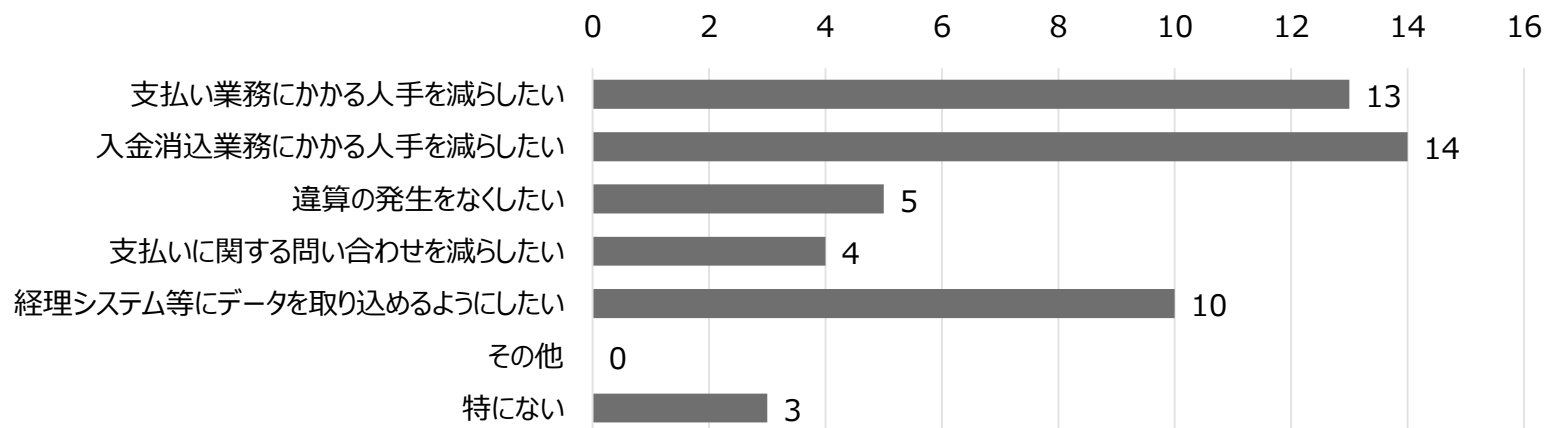


## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 入金・支払い業務に関する課題、ZEDIに対する意識調査

#### 入金支払業務・ZEDI関連設問

問6 あなたの会社の入金・支払い業務で課題になっていること、改善したいとお考えのことはありますか？（複数選択可）

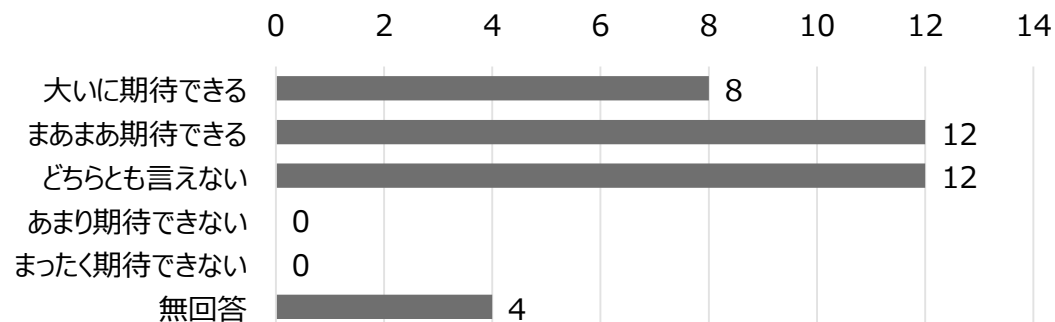


## 2-2. 部会等実施状況の報告

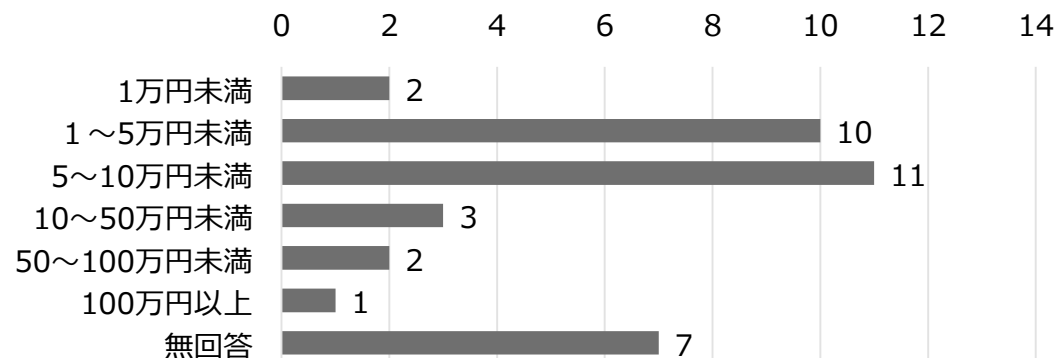
### 3. 普及活動状況 入金・支払い業務に関する課題、ZEDIに対する意識調査

#### 入金支払業務・ZEDI関連設問

問7 セミナーで紹介したZEDIは、前問でお答えいただいた課題の解決に役立つと思いますか？



問7SQ 仮に、あなたの会社でZEDIを適切に導入して利用した場合、入金・支払い業務の効率化などの効果を金額にすると、月々どれくらいになると思われますか。（およそのイメージで結構です）

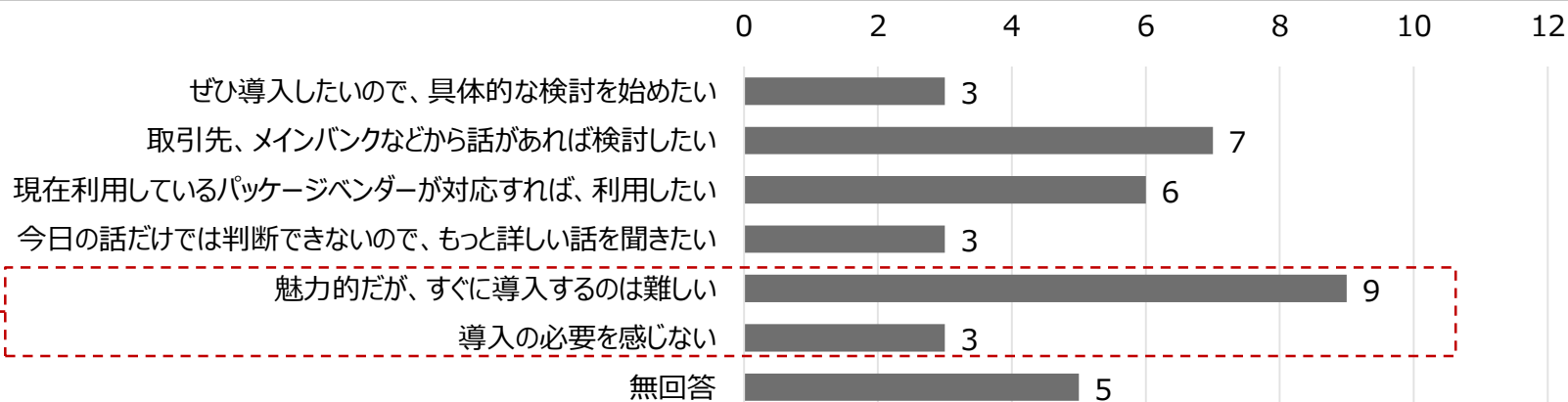


## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 入金・支払い業務に関する課題、ZEDIに対する意識調査

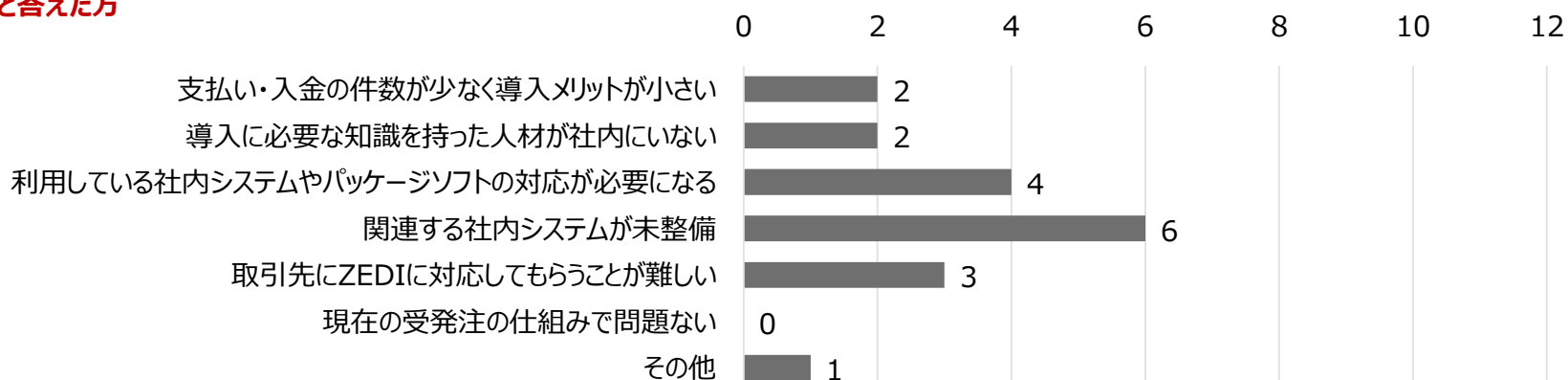
#### 入金支払業務・ZEDI関連設問

問8 本日の講演をお聞きになって、ZEDIへの対応についてどう思われましたか？



問8SQ ZEDIの導入・利用が難しいと思われるのはなぜですか？（複数選択可）

導入・利用が難しいと答えた方



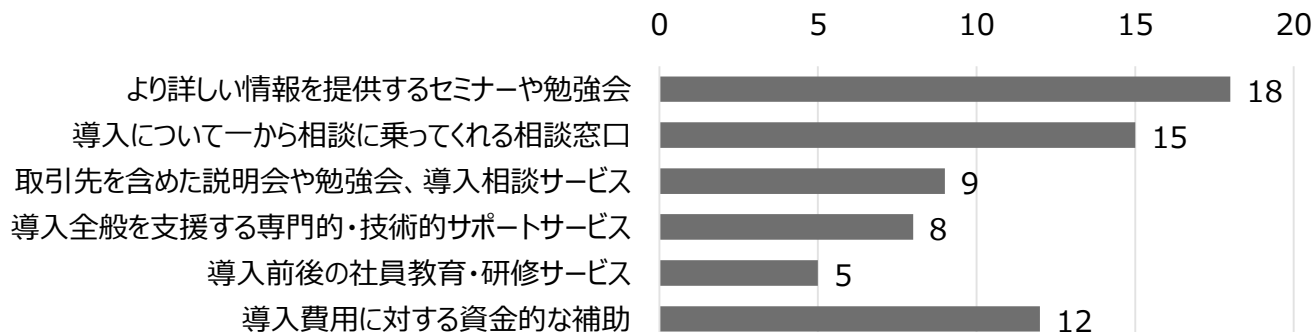
## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 導入支援の意識調査、その他感想など

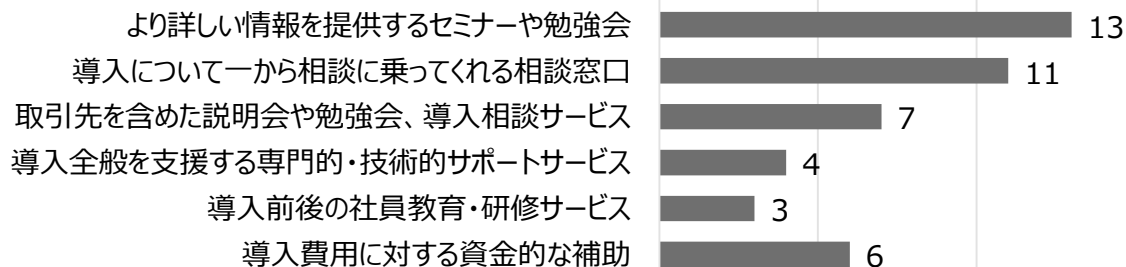
#### 導入支援の意識調査等設問

問9 これらの仕組みについて、どのようなサポートやサービスがあれば、導入の助けになると考えられますか。（複数選択可）

中小企業共通  
EDI



Z  
E  
D  
I



## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 第1回普及調査部会のアジェンダ案

普及調査部会は、第1回部会にて、普及活動の全体活動計画の審議や、アンケート結果の深堀確認を実施します。メンバーは、本日決定するモデルプロジェクトの代表者を含み実施する予定です。

#### 第1回普及調査部会アジェンダ案

##### 1. 開会

- 部会長互選

##### 2. 事業概要

##### 3. 審議事項

- 活動計画
- アンケート結果

##### 4. 閉会

普及活動における実施事および詳細内容・実施タイミングの審議

本日報告したアンケートのクロス集計等の深堀分析とその反映方針の審議

#### 普及調査部会 部会委員（第1回委員会資料より再掲）

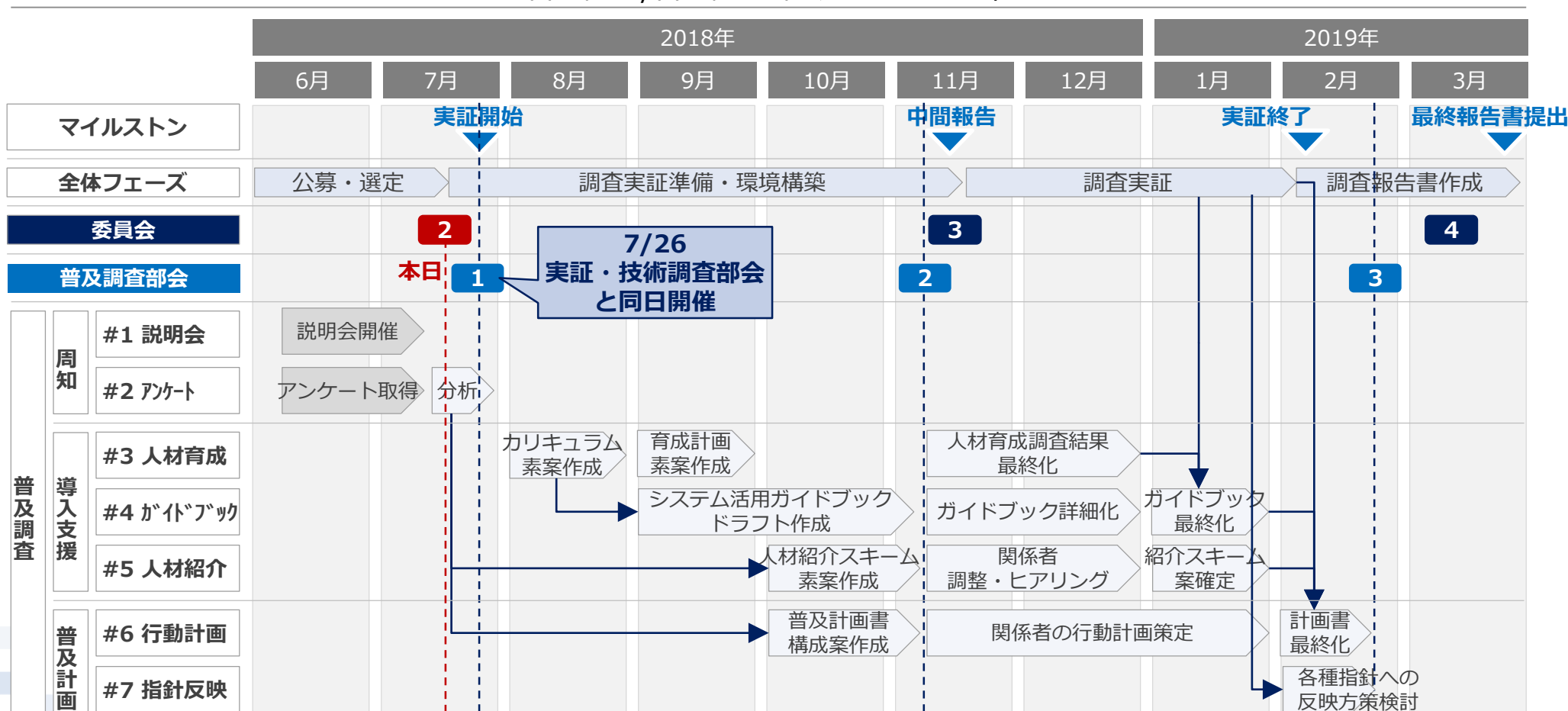
氏名（敬称略）	所属
小松 靖直	日本商工会議所 情報化推進部長
鈴木 修	特定非営利活動法人ITコーディネータ協会 IT経営研究所 主席研究員
松島 桂樹	一般社団法人クラウドサービス推進機構 理事長
水谷 学	一般社団法人日本コンピュータソフトウェア協会（CSAJ） 筆頭副会長
各モデルプロジェクト 代表者 ※オブザーバー	（各モデルプロジェクト代表法人）

## 2-2. 部会等実施状況の報告

### 3. 普及活動状況 普及活動に関する今後の予定

遠方から参加するモデルプロジェクト関係者の事情を考慮し、第1回普及調査部会は、第2回実証・技術調査部会と同日の7/26に開催予定です。

普及調査/普及調査部会のスケジュール案



### 3. 審議

⇒ 別紙6 採択モデルプロジェクトの概要

---

#### 4. 閉会



# END

---